

7/13 消防団員きびきびと

置戸消防団の消防演習が7月13日、ファミリースポーツセンターグラウンドで実施されました。この日は、町内各分団から98人の消防団員が参加し、小隊訓練や消防ポンプ車操法など日ごろの訓練の成果を披露しました。演習の最後を飾った模擬火災訓練では、消防車が一斉に放水し、中央公民館前庭に巨大な7つの水柱が並ぶと、会場からは大きな拍手が送られていました。



7/14 野生大麻除の撲滅を

北見保健所は7月14日、町内のボランティアなど50人の協力を得て置戸町内で野生大麻の除去作業を行いました。夏日となったこの日、参加者は額の汗を拭いながら群生する大麻を一本一本抜き取る作業にあたりました。この日除去した大麻は約1,500本で、北見市内の施設で焼却処分されました。北見保健所では「大麻草と思われる植物を見かけたら情報提供を」と呼びかけています。



7/16 科学遊びで不思議体験

園児たちに科学の不思議さや楽しさを体験してもらう「サイエンスショー」が7月16日、こどもセンターどんぐりで開かれました。この日は、北見緑陵高校の高田真也先生が、身近にある空気をテーマにインパクトのある器材を用いて様々な実験ショーを披露。園児たちは、終始興味津々な眼差しで実験を見つめ続け、「すごい!」「手品みたい!」などと歓声を上げていました。



7/29 都会っ子が農村体験

東京都多摩市永山地区の子どもたちが置戸を訪れる「ふるさと体験ツアー」が7月24日から6泊7日の日程で行われました。置戸から多摩を訪れる「東京体験ツアー」と隔年で実施されている交流事業で今年で25回目。参加した永山小の児童は「収穫体験が楽しかった。大きい玉ネギがたくさん取れた」などと話し、体調を崩すこともなく8人全員が元気に東京へ帰っていきました。

